

「世界の封筒用紙市場2022年－2031年：素材別（上質紙、クラフト紙、色紙、特殊紙）」調査レポート（市場規模・動向・予測）を取り扱い開始しました



2022年9月20日

株式会社マーケットリサーチセンター

株式会社マーケットリサーチセンター（本社：東京都港区、世界の市場調査資料販売）では、「世界の封筒用紙市場2022年－2031年：素材別（上質紙、クラフト紙、色紙、特殊紙）」調査資料の販売を2022年9月20日

に開始いたしました。封筒用紙市場規模、動向、予測、関連企業の情報などが盛り込まれています。

■レポートの種類：グローバル市場調査レポート

■レポートのタイトル：世界の封筒用紙市場2022年－2031年：素材別（上質紙、クラフト紙、色紙、特殊紙）

■英文タイトル：Envelope Paper Market (Material: Bright White Paper, Kraft Paper, Colored Paper, and Specialty Paper) - Global Industry Analysis, Size, Share, Growth, Trends, and Forecast, 2022-2027

■発刊日：2022年8月30日

■出版社：Transparency Market Research（トランスペアレンシーマーケットリサーチ）

■レポート形態：PDF（Eメールによる納品）

■主な掲載内容

封筒用紙市場は、Eコマース業界における紙製封筒の利用拡大により、予測期間中に成長すると予想されます。また、封筒を無料で配送する宅配便サービスの拡大も、予測期間中の封筒用紙の市場規模を押し上げる要因となっています。近年では、技術の進歩が市場に大きな変化とトレンドをもたらしました。封筒への印刷が可能になったことで、印刷された封筒の需要が高まっています。新しい印刷技術によって、企業は封筒に多くの色や画像、グラフィックを追加することがで

きます。封筒は、さまざまな色やグラフィックを使って、より魅力的なものにすることができます。フレキソ印刷は安価であるため、市場での利用が増加しています。高品質な写真やグラフィカルな印刷によって、封筒はより魅力的になりました。このように、新しい印刷技術による封筒の魅力向上が、封筒用紙の市場成長を後押ししています。

COVID-

19の大流行により、世界のほとんどの分野で不利な影響を受けています。多くの産業が、政府によって課されたロックダウンやその他の制限により、サプライチェーンの崩壊を目の当たりにすることになりました。封筒用紙の世界市場も、規制や制限のために縮小を余儀なくされました。消費者が必需品に目を向けるようになり、封筒用紙の需要は減少しました。しかし、Eコマース分野は、パンデミックの最中でも稼働していました。Eコマースサイトを通じたオンライン販売は大幅に増加しました。これは封筒用紙の市場に若干の好影響を与えました。全体として、封筒用紙市場は、COVID-

19パンデミックの間、収益に中程度のマイナスの影響を及ぼしました。しかし、郵便、物流、電子商取引などにおける封筒用紙の用途は、近い将来、世界的に増加することが予想され、市場を牽引していくものと思われます。

封筒用紙は、主に手紙やカード、書類などを郵便で送るために使用されます。市場にはさまざまな種類の封筒用紙が出回っています。ビジネス用、郵便用、機関紙用など用途によって使い分けられます。封筒用紙は、クラフト紙、白色紙、光沢紙、特殊紙などから選択されます。様々な用途で、提供される情報に簡単にアクセスできる窓付き封筒が必要とされています。窓付き封筒は、一般的にユニークな形状で作られており、窓の形や大きさは、要件に応じて選択することができます。これらの封筒は、お客様に内容のプレビューを提供します。また、複数の窓を設けることも可能です。窓付き封筒の特徴として、デザイン性の高いディスプレイ、特別な魅力、視認性の向上が挙げられます。窓付き封筒の需要の高まりは、封筒用紙の売上高を増加させると予想されます。

プライバシー保護用封筒、市場の主要トレンド

デジタル化により、データの盗難や機密情報漏洩の脅威が高まっています。新たに開発されたプライバシー保護封筒は、FIPS（連邦情報処理規格）の認定を受けています。プライバシー保護封筒は、サードパーティーメーカーや金融機関向けに設計されています。さらに、政府機関や医療機関などでは、データを保護するためにプライバシーディフェンダー封筒が使用されています。このように、新しく開発されたプライバシーディフェンダー封筒が封筒用紙の市場を牽引しています。

郵便サービスとEコマース分野は、今後も封筒用紙の最大ユーザーであり続けると予想されます。封筒は、郵便サービスや電子商取引を通じて、手紙や書類、小物などを送るために使用されています。さらに、封筒はグリーティングカードや招待状にも使用されます。これらは郵便サービスを通じて輸送されます。郵便サービスとEコマースのエンドユースセグメントは、合計で予測期間中に2億1940万米ドルの成長機会を創出し、今後2027年末までに金額ベースで市場シェアの約68%を占めると推定されます。

封筒用紙市場のメーカーは、環境への悪影響を軽減するために、再生可能でリサイクル可能な紙の使用に注力しています。お客様は、持続可能なパッケージングソリューションを選択するようになっています。封筒用紙の需要の高まりは、デザイン、外観、安全性への配慮の革新に起因しています。例えば、欧州封筒製造業者連盟は、紙製品のイノベーションを紹介する展示会を開催しました。このような取り組みにより、パッケージにおける紙製品の使用量が増加し、封筒用紙の市場を後押ししています。

電子商取引分野の成長は、封筒用紙の市場を牽引する大きな要因となっています。封筒は、レターボックスで発送される商品の包装に最も適したオプションです。また、小さなプレゼントやチケットなども封筒に詰めて送られます。メーカー各社は、持続可能で安全な配達を保証する封筒を提供するようになってきています。このため、Eコマース業界では、何百万という小規模な販売者が収益機会を得るのに役立っています。封筒の紙は軽量で、革新的、魅力的であり、簡単に追跡可能です。これらの封筒は、Eコマース業界において牽引力を発揮しています。

明るい白色の紙は、メーカーの間で封筒用紙として最も好まれている素材です。明るい白色紙の封筒への需要は、世界中で一貫して増加しています。明るい白色紙の滑らかな外観は、予測期間中に封筒用紙メーカーに成長機会を創出する可能性があります。また、明るい白色の紙はコスト効率が高く、一般的にダイレクトメールに使用されています。

■レポートの詳細内容はこちら

<https://www.marketresearch.co.jp/data1/envelope-paper-market-material-bright-white-paper-kraft-paper/>

■レポートに関するお問い合わせ・お申込みはこちら

<https://www.marketresearch.co.jp/contacts/>

■調査会社Transparency Market

Research（トランスペアレンシーマーケットリサーチ）について

<https://www.marketresearch.co.jp/Transparency-Market-Research/>

株式会社マーケットリサーチセンターはTransparency Market

Researchの日本での正規販売代理店です。

■株式会社マーケットリサーチセンターについて

<https://www.marketresearch.co.jp>

主な事業内容：市場調査レポート販売、市場調査サービス提供

本社住所：〒105-0004 [東京都港区新橋1-18-21](#)

TEL：03-6161-6097 FAX：03-6869-4797

マーケティング担当 marketing@marketresearch.co.jp

Generated by [ぷれりりプレスリリース](#)

<https://www.prerele.com>